

令和4年6月3日

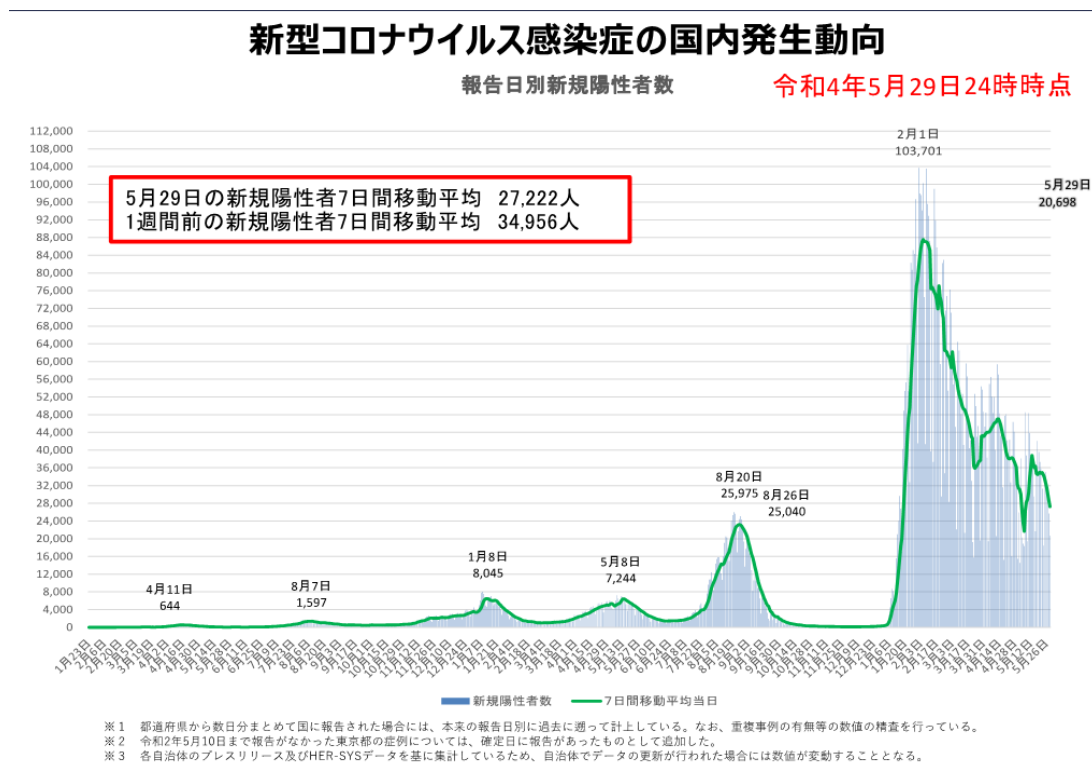
会員各位

公益社団法人奈良県柔道整復師会
会長 川口 貴弘

新型コロナウイルス感染経路について
(情報提供)

前略失礼いたします。
新型コロナウイルスはオミクロン株系統以降、やや被害状況が減少する方向へ向かうように窺えますが変異を短期間で繰り返す非常に巧妙なウイルスであることから未だ油断は禁物でございます。マスクにつきましては、熱中症予防観点からTPO（時・所・場合）により着脱することが推奨されるようです。先生方におかれましても今しばらく適切な感染予防対策を継続ください。以下、国内発生状況やマスクについてご覧ください。

草々



ワクチン接種歴別の新規陽性者数（5/9-5/15）

	未接種			2回目接種済み (3回目接種済みを除く)			3回目接種済み			接種歴 不明
	新規 陽性者数 (5/9- 5/15の 合計)	未接種 者数 (5/15時点)	10万人 あたりの 新規 陽性者数	新規 陽性者数 (5/9- 5/15の 合計)	2回目 接種者数 (3回目接種 者数を除く) (5/15時点)	10万人 あたりの 新規 陽性者数	新規 陽性者数 (5/9- 5/15の 合計)	3回目 接種者数 (5/15時点)	10万人 あたりの 新規 陽性者数	
0-11歳	31,524	10,926,684	288.5							
12-19歳	7,079	2,104,971	336.3	12,826	5,133,289	249.9	1,497	1,685,163	88.8	12,063
20-29歳	8,787	2,426,250	362.2	16,436	5,578,101	294.7	6,682	4,711,092	141.8	15,853
30-39歳	5,987	2,789,296	214.6	11,036	5,678,939	194.3	6,055	5,820,331	104.0	12,509
40-49歳	3,989	3,083,817	129.4	9,445	5,952,397	158.7	7,154	9,315,361	76.8	11,164
50-59歳	2,096	1,348,739	155.4	4,515	3,825,232	118.0	6,024	11,588,180	52.0	6,242
60-64歳	474	626,426	75.7	863	926,766	93.1	2,346	5,843,941	40.1	1,845
65-69歳	296	994,859	29.8	425	495,491	85.8	2,183	6,593,206	33.1	1,491
70-79歳	385	887,496	43.4	548	817,124	67.1	3,371	14,487,833	23.3	2,312
80-89歳	248	97,290	254.9	397	574,224	69.1	2,127	8,353,939	25.5	1,628
90歳以上	153	-	-	171	205,390	83.3	960	2,166,864	44.3	767

※ HER-SYSに登録されている新規陽性者を、不明を含むワクチン接種歴の有無で分けて集計し、報告日における新規陽性者数の7日間の合計を算出。(データは5月16日参照。データは日々更新され、今後最新のデータが反映される。)

※ ワクチン接種歴が未記入の場合、令和4年4月20日までのADB提出データでは未接種に分類していたが、5月11日以降のADB提出データでは接種歴不明に分類している。

※ HER-SYSに年齢情報がない者は含まれない。また、日本最高齢(令和4年5月16日現在)を上回る年齢で届出があった者はいずれにも含まれない。

※ 新規陽性者には無症候感染者も含まれる。

※ 10万人あたりの新規陽性者数は、7日間の新規陽性者数の合計を期間の最終日(5/15)のワクチン接種の有無で割り人数で割り人口10万人対に換算したものであり、結果の解釈には留意が必要。

※ ワクチン接種者数は、ワクチン接種記録システム(VRS)に報告されている報告データに基づき算出。(データは5月16日参照。データは日々更新されるため、接種から記録されるまでにはタイムラグがあり、今後最新のデータが反映される。)

※ 未接種者数は各年代の人口の総計から接種済みの人数を引いて算出。また、年齢階級別人口は、首相官邸ホームページの公表データを使用(総務省が公表している「令和3年住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)」のうち、各市区町村の性別及び年代階級の数字を集計したものを利用。)。接種済みの人数が年齢階級別人口を超える場合は、未接種者数及び10万人あたりの新規陽性者数を“-”で示す。

2

第85回(令和4年5月25日) 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 事務局提出資料	資料2-5
--	-------

マスク着用の考え方及び就学前児の取扱いについて

- アドバイザリーボードで示された専門家の考え方(5/19)も踏まえ、以下のように対応する。
 - 基本的な感染対策としてのマスク着用の位置づけは変更しない
 - 身体的距離が確保できないが、会話をほとんど行わない場合のマスク着用の考え方を明確化
 - 就学前の児童(2歳以上)のマスク着用について、オミクロン株対策以前の取扱いに戻す
- 引き続き、マスク着用を含めた基本的な感染対策(手指衛生や換気など)を徹底していただくとともに、こうしたマスク着用に関する考え方は、リーフレット等を作成し、丁寧に周知・広報を行う。

1. マスク着用の考え方

	身体的距離(※)が確保できる ※2m以上を目安		身体的距離が確保できない	
	屋内(注)	屋外	屋内(注)	屋外
会話を行う	着用を推奨する (十分な換気など感染防止 対策を講じている場合は 外すことも可)	着用の必要はない 事例①	着用を推奨する	着用を推奨する
会話をほとんど 行わない	着用の必要はない	着用の必要はない	着用を推奨する 事例③	着用の必要はない 事例②

(注) 外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など

※夏場については、熱中症防止の観点から、屋外の「着用の必要はない」場面で、マスクを外すことを推奨。

※お年寄りや会う時や病院に行くなどハイリスク者と接する場合にはマスクを着用する。

事例①
・ランニングなど離れて行う運動
・鬼ごっこなど密にならない外遊び

事例②
・徒歩での通勤など、屋外で人とすれ違うような場合

事例③
・通勤電車の中

2. 小学校就学前の児童のマスク着用について

- 2歳未満(乳幼児)は、引き続き、マスク着用は奨めない。

- 2歳以上は、以下のとおり、オミクロン株対策以前の新型コロナウイルス対策の取扱いに戻す。

「保育所等では、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない。なお、施設内に感染者が生じている場合などにおいて、施設管理者等の判断により、可能な範囲で、マスクの着用を求めることは考えられる」

(注) 2歳以上については、本年2月の基本的対処方針の改訂時に、オミクロン株の特徴を踏まえた対応とし「保育所等では、発育状況等からマスクの着用が無理なく可能と判断される児童については、可能な範囲で、一時的に、マスク着用を奨める」としていた。



屋外・屋内でのマスク着用について

- マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。
一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。
- 屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**
- 屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**



	距離が確保できる	距離が確保できない
【屋外】		
会話を する	マスク必要なし 	マスク着用推奨
会話を ほとんど 行わない	マスク必要なし 	マスク必要なし
	公園での散歩やランニング、サイクリングなど	徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面

	距離が確保できる	距離が確保できない
【屋内】		
会話を する	マスク着用推奨 	マスク着用推奨
会話を ほとんど 行わない	マスク必要なし 	マスク着用推奨
		通勤ラッシュ時や人混みの中 ではマスクを着用しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。
体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。



夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

マスクに関するQ&A

